



食育だより 1月



令和5年1月 白山市立蕪城小学校

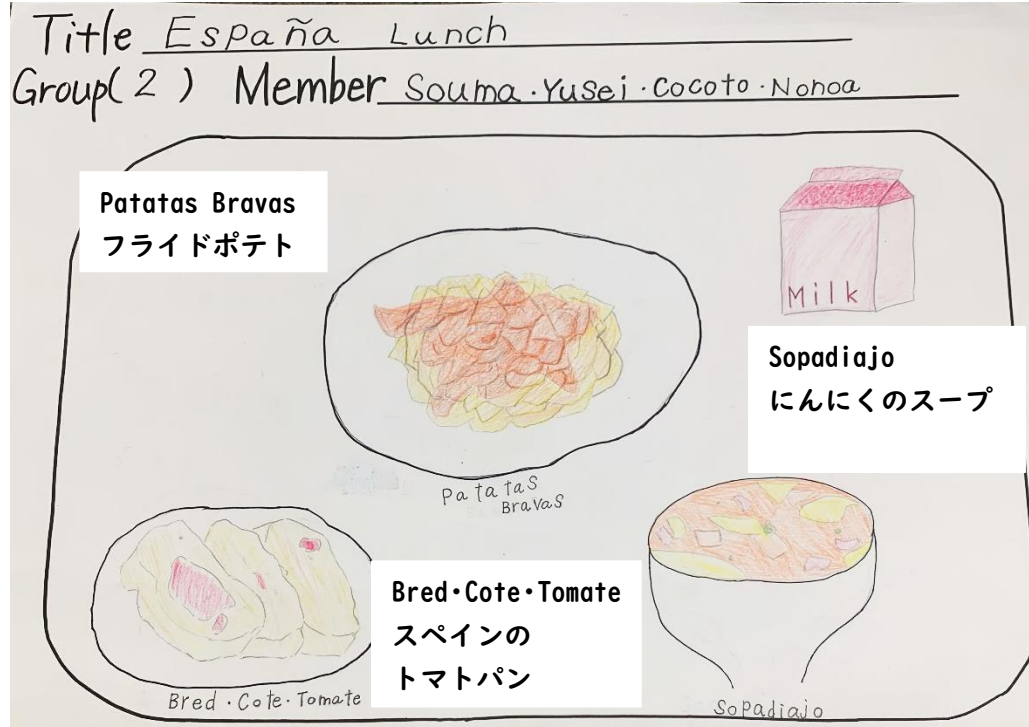
あけましておめでとうございます。今年も、みなさんの健康と幸せを願い、「おいしい！」と感動してもらえる給食を提供できるようにスタッフ一同がんばります。みなさんも、自分の健康のため、食べ物の命のため、作ってくれた人のため、そして地球環境のために、できるだけ残さず食べて全校で残食ゼロ(食品ロス削減)をめざしましょう。

給食から始めるSDGs(持続可能な開発目標)

1/18 外国語科の授業で考えたオリジナルメニュー★6C★

1月18日(水)の給食は、6Cの小野心琴さん、小村悠成さん、松村颯真さん、見山希乃愛さんが考えたオリジナルメニューです。外国語科の授業で、白山市の食材を取り入れたこんだてをグループで考え、英語で紹介しました。各クラス1点ずつ最優秀賞が選ばれ、1月は、スペイン料理を考えたこの給食が実際に登場します。授業で白山市産の食材をプレゼンした際の一文を紹介します。

“The tomatoes, green onions, and green peas are from Hakusan.”



かんしゃ た 感謝して食べよう

いただきます = 命に感謝



私たちは毎日、他の生き物の「命」をいただき、自分の「命」を養っています。毎日口にする食べ物のうち、水と塩以外は全て「命」を持っていた物ばかりです。お米、野菜、果物、魚、肉、豆、卵など、一日に約30種類の「命」をいただき、自分の体の成長に役立っています。大切な食べ物を、平気な気持ちで残したり、捨てたりすることは、他の生き物の「命」を粗末にすることになります。食事の前に、「いただきます」とあいさつするのは、「命をいただきます」の意味なのです。

ごちそうさま = 人に感謝



食事ができあがるまでに、一生懸命に走り回り作物を作ったり、運んだり、料理をしたりすることを漢字で「馳走」と書きます。「ごちそうさま」は、その「馳走」と言う行動に「ご」と「様」を付けた言葉です。食事を作るために苦勞をしてくれた方々への労いと感謝の意味を込めたあいさつが「ご馳走様」です。